

# ゆめみにゅーす



## YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 42  
発行日 平成28年11月2日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種185点  
鳥類:28種110点  
爬虫類:11種41点  
(平成28年10月末日現在)

### フラミンゴ舎改修中

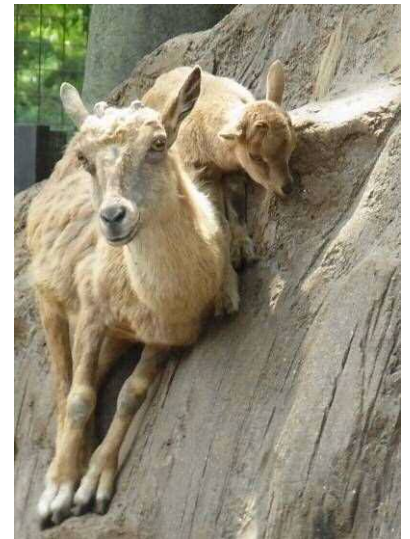
フラミンゴの池の上には網が張ってあったのですが、ゆるんだり切れたりして隙間が開いてきました。その隙間を狙ってカラスやムクドリがフラミンゴの餌をくすねに来るのですが、その量がかわいらしいものではなくひどい、ということで、侵入防止にテグスを張り始めました。資金が無いので、飼育の合間を縫ってすべて手作業。また、カラスやムクドリに餌をとられればなしで反撃もできないことから分かるように、警戒心が強く臆病なフラミンゴのストレスになりすぎないように、1日1時間が作業の上限です。

完成する前から、野鳥たちは警戒して近づかなくなりました。フラミンゴも少しは快適になったかな？



← 鬼軍曹の「もやい結び検定」をクリアしないと参加できません。自主練が必要です。

→ いかつい顔と鋭い目つきが怖い印象もありますが、警戒心がとても強い動物で、群れの他の個体と一緒に行動します。



### 年賀状コンクールのお知らせ

来年も動物たちあての年賀状を募集します。いただいた年賀状は事務所に掲示し、スタッフの投票で上位の方には賞品を差し上げます。

あて先：〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 1-2-1

夢見ヶ崎動物公園「年賀状コンクール」あて

募集期間：平成29年1月1日(日)～1月8日(日) 必着

掲示期間：平成29年1月15日(日)～1月22日(日)

お待ちしております！



# ★ピックアップ動物★

## ブラウンキツネザル

哺乳綱 サル目 キツネザル科



アフリカのマダガスカル島の南部・中央部を除く全域に広く生息しているキツネザルです。野生ではオス・メスが複数ずつ集まった群れで行動することが多いのですが、群れの頭数は増えたり減ったり、一定ではありません。また、昼間に行動することもあれば夜行性になったりもしますが、その理由はよくわかっていません。他の多くのキツネザルでは、メスがオスより優位な、いわゆるかかあ天下なのですが、ブラウンキツネザルでは性による優劣はありません。主な食物は果実です。

生まれた子どもは母親にしがみついています。4 か月ほどすると一人で出歩くようになります。大人は木から木へ、全身をばねのように使い見事なジャンプをしますが、まだミルクを飲んでいる赤ちゃんも、教えたわけでもないのに大人顔負けのジャンプをします。

今年、夢見ヶ崎動物公園では1頭の赤ちゃんが生まれましたが母親の乳が出なかったため、人工哺育しています。当園でも初めてのことで波瀾もありましたが、皆の愛情を一身に受けすすく育っております。キツネザルである自覚がないため、バックヤードでマロばあちゃんと触れ合う訓練中ですが、そのうち姿をお見せできるかもしれません。

## 獣医の日記



ヤギたちの群れの最長老、つくしの姿が見えないことに気付かれた方もいるようですが、実は現在バックヤードで静養しております。以前から加齢により蹄や脚の関節の具合が少しずつ悪くなり、寒い日や天気の良い日は痛そうにしていることもありました。昨年若い5頭が仲間入りしたのが刺激になったようで、元気にスタスタ歩く姿もよく見られていたのですが、年齢には逆らえなかったようで、この夏は自力で立ち上がれなくなってしまいました。

立てないまましていると、筋肉が弱ってますます立てなくなったり、体重の掛かっている部分が床ずれをおこしたりするだけでなく、消化管の動きが悪くなってあっという間に弱っていくこともあります。そこで、最初は少しでも立ってもらうためにチェーンブロックという機械を使って、つくしが大した力を使わなくても立ち上がれるようにしていました。すると同時に使っていた痛み止めが効いてきたのか、飼育員たちの励ましのおかげか、やがて機械を使わなくても立てるようになり、少しずつ歩けるようになってきました。さらに、飼育員が実際に使って効いたという、人間用のグルコサミンとコンドロイチンのサプリも与え始めたところ、つくしにも合っているようで、今では調子のよい日は自力で立ち上がり歩き回るまでになり、とうとう10月終わり、ヤギ舎に戻ることができました。ヤギ舎の段差にはスロープを設置し準備万端。がんばってきたつくしを見かけたらぜひねぎらいの言葉をかけてあげてくださいませ。



## ★動物たちの主な移動(平成28年8月1日～平成28年10月31日)★

マーコール(♀1死亡)、ワタボウシパンシェ(♂1死亡)、ホンシュウジカ(♂1繁殖)、パラワンコクジャク(性別不明1繁殖)、ミノヒキチャボ(♂1死亡)